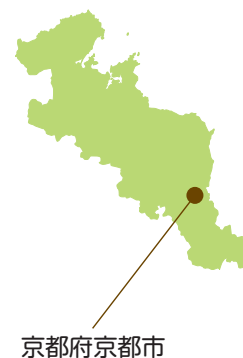


こと京都株式会社

※2016年3月現在

代表者名	山田 敏之	資本金	21 百万円
設立年	2002 年 5 月 1 日	売上高	793 百万円 (2014 年 12 月期)
事業内容	生産 (青ネギ)、加工・製造、 消費者直売、青果流通	経営規模	田 3.4ha、畑 25.8ha、加工場 1,600㎡、採卵鶏 2 千羽
従事者数	118 人 (うち女性 55 人。女性内訳：役員 2 人、一般職 5 人、常勤パート 48 人)		
女性活躍 支援	[女性に配慮して取組んでいる制度] 休暇 (育児・介護)、短時間勤務制度 [女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (休憩室・シャワーの設置)、重労働等の業務改善		



経営概況

こと京都(株)は、九条ネギの生産とその加工品製造・販売を中心とした事業を展開する農業法人である。気候・地形条件の異なる京都府内の3カ所の圃場で産地リレーを行いながら、九条ネギの通年安定出荷に努めている。

加工部門については、代表取締役・山田敏之氏の就農から数年経過した1997年頃より、カットネギの製造に着手した。

山田氏が前職で培った営業経験・感覚を活かし、主たる営業先をラーメン店に絞ったところ、ラーメンブームに乗った形で売上拡大に成功した。



その後、2009年の新工場完成を契機に、さらに高いレベルの衛生管理体制を築き、取扱商品の開発・充実も進めた結果、スーパーマーケット、生協、ファミリーレストラン等へと取引先が広がり、最新の決算時(2015年12月時点)で前年比123%の伸び率を示している。需要の高まる九条ネギの安定生産・出荷量確保を目指し、2013年より農業研修生制度の運用も始めた。

1. 任せて発見した女性の強み

腕力の強弱を除き、男女の差は小さいように思えるが、実際に工場の現場の作業を任せてみると、細かな作業について目を配ることのできる人材は女性に多く、自然に役割分担がされるようになってきた。

飲食業向けにカットネギを契約販売するだけでなく、小売店向けの小さなパッケージ作成、あるいは加工品開発に際しては、包装デザインの作成も重要な作業となっており、消費者目線で忌憚ない意見を提供できる女性陣の発言は有益であると考えている。

また、会社の広報活動の一環で毎月発行してい

るリーフレット、宣伝用のパンフレットに使う写真の撮影・選定などにも、女性の感覚は不可欠であると考えている。

2. 正社員・パートの別がない グループ班制度

現時点で女性役員が2名いる以外に、部長・課長を務める女性はいないが、部長の直下に配属されるリーダー職に2名の女性が就いている。農業生産と加工作業に加え、様々なメニュー提案・商品企画も必要な時代になってきており、女性の力を活用したいと、来年度の新卒雇用も女性2名を予定している。

日々の作業行程では4~5名程度で構成された小さな作業グループを作り、その際の班長は社員・パートの別なく交代で務めている。正社員・パートの違いは勤務態勢の違いにとどまり、非常にフラットな関係が築かれ、ベテランのパート職員が、新入社員に教育するなど自然に行われている。

3. スタッフの最大の希望を叶える シフト勤務

子育て中の女性にとって「子供の行事や参観日に休むことができるか」「家族の急な病気に際しても休むことができるか」といったことが、最大の関心事であることに気づいたことから、それに対応できる仕組みを考え、少しずつ独自のシステムを作り上げてきた。

具体的には採用時に希望する勤務体系について、十分なヒアリングを行うところからスタートする。毎月のシフトは予め設定するものの、急遽休みを取ることは可能である。

働きやすい環境であることから、退社するスタッフは非常に少なく、採用の手間が軽減し、基本

的な技術習得に必要なOJT教育の時間が短縮している。

4. 女性が働きやすい環境の整備

女性スタッフは主に加工部門に従事しており、九条ネギの第一次加工を行っている工場建設の際にシャワー室を完備するなど、身体に匂いを残さず帰宅できるように配慮をしている。また農場部門にも女性が配属されることがあり、男女別トイレを整備するなどインフラの整備を進めている。

圃場作業・工場内作業ともに、荷物の運搬などの重労働は主に男性陣が担っているが、腕力の弱い女性陣でも無理なく作業できるよう、作業台の高低、ザルなどの大きさ、荷台へのローラー設置、補助器具の設置による輸送プロセスの簡便化など、現場からの提案に基づいた細やかな改善を日々進めている。

審査委員の声

女性の存在なくしては、6次産業化の成功はなかった、と強く感じさせられた事例。家庭の都合などで「思うように働く時間が取れない、けれど働きたい」というジレンマを抱える女性は少なくない。

これを、丁寧な面談と独自の手法で解決し、これまで働く場所が見つげづらかった多くの女性を人材として掘り上げることに成功している。

また、就業環境も働きやすいように細かな配慮を巡らしている。

とある男性社員の「女性が運営し、男性が支えている会社」という言葉が印象的であった。将来的には、女性が経営の一翼を担う会社となることに期待したい。